

なごや市会だより

名古屋市会の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶



議会の活動

令和元年(2019年)12月 第168号

9月定例会特集号

9月定例会は、9月10日から10月9日までの30日間にわたって開かれ、補正予算、条例案や平成30年度決算認定案など市長提出案件48件、議員提出議案5件についての審議などを行いました。

名古屋市会

Q 検索



名古屋市ウェブサイト(市会情報)▶

9月定例会の日程

開 会	9/10 本会議	9/13~18 本会議	9/19~26 常任委員会	9/27 本会議	9/30~10/7 常任委員会	10/9 本会議	閉 会
	市長提出案件について 市長より提案説明	個人質問 (→詳細は、2・3面)	市長提出案件について 審 査	市長提出案件などについて 議 決 ----- 決算認定案について 市長より提案説明	決算認定案について 審 査	決算認定案などについて 議 決	

「名古屋市総合計画2023の策定について」を修正可決

●「名古屋市総合計画2023の策定について」は、賛成多数により修正可決しました。

名古屋市総合計画2023は、長期的な展望に立った市政全般に係る政策及び施策の基本的な方向性を総合的かつ体系的に定める計画です。

▼修正の内容▼

相生山緑地事業の推進について、その取り組みを明確にするため、事業概要の文言を一部修正し、関連事業の記載を削除するものです。

〈修正の趣旨〉

- 原案の事業概要では、園路等の定義が明らかでなく、弥富相生山線の道路に関連する部分を含むか否かの解釈がどちらも可能であり、誤解を招く恐れがある。
- 関連事業として記載されている渋滞対策及び通過交通対策は、本来、緑地事業とは区別して記載すべき道路事業である。また、野並交差点・島田交差点の渋滞対策及び相生山緑地近隣地区の通過交通対策は、総合計画への記載の有無にかかわらず、継続事業として今後も引き続き取り組んでいく事業である。



➡「名古屋市総合計画2023の策定について」は、採決に先立ち、日本共産党から反対討論(理由:非正規労働を増やす手法をさらに進める。ささしま地下通路建設や中部国際空港第2滑走路は必要ない。名古屋城天守閣木造復元は立ち止まって市民の意見を聞くべき。公立保育園廃止計画は中止すべき。金持ち優遇の市民税減税は廃止すべき。また、総合計画の修正案については、道路事業の存廃を棚上げしたままでの緑地基本計画はあり得ない。)が行われました。

ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善等検討調査などの補正予算を可決

●「令和元年度名古屋市一般会計補正予算(第3号)」など3件は、いずれも全会一致または賛成多数により原案どおり可決しました。

【主な内容】

(1万円未満は四捨五入)

ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善等検討調査 名駅通の歩行者交通量の増加への対応及び名駅南地区のにぎわい創出に関する検討調査	1,500万円
民間障害者支援施設・民間特別養護老人ホームの非常用発電機整備等補助 民間障害者支援施設や民間特別養護老人ホームにおける非常用発電機の整備費及び安全性に問題のあるブロック塀の改修費に対する補助	1億778万円
いじめ防止対策推進法に基づく再調査 名東区の市立中学校生徒の自死事案に関して、いじめ問題再調査委員会を設置し、再調査を実施	619万円
子どもいきいき学校づくり推進審議会委員の報酬 小・中学校の学校規模の適正化に関する事項を調査審議する審議会委員(13人)の報酬	49万円



ささしまライブ24地区の上空から(平成30年1月撮影)

平成30年度決算認定案について「認定」または「可決及び認定」

●「平成30年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定について」など各会計決算認定案19件については、全会一致または賛成多数により、「認定」または「原案どおり可決及び認定」しました。

一般会計の決算状況

- 歳入決算額は1兆2,048億円余、歳出決算額は1兆1,966億円余でした。
- 前年度に比べ歳入は389億円余増加し、歳出は370億円余増加しました。
- 翌年度繰越財源33億円余を差し引いた実質収支は49億円余の黒字でした。

➡「平成30年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定について」は、採決に先立ち、日本共産党から反対討論(理由:市民税減税により財源不足をつくり出し、市民の暮らしや福祉を削減したこと。過大な需要予測に基づく、大型事業を推進したこと。名古屋城天守閣木造復元は、2022年完成を断念したにもかかわらず、事業の見直しをしていないこと。)が行われました。

提出案件の賛否、決算認定案の委員会審査については、4面をご覧ください。▶

議会構成の変更について

前田えみ子議員(減税日本ナゴヤ(当時))の伊勢湾台風に関する不適切な発言を発端として、以下の議会構成の変更が行われました。

●所属委員の変更

9月26日に前田えみ子議員から議会運営委員の辞任願が、前田えみ子議員及び余語さやか議員から常任委員の所属変更の申し出があり、9月27日の本会議において、下記のとおり変更となりました。

		変更前	変更後
常任委員会	経済水道委員	余語さやか	➡ 前田えみ子
	都市消防委員	前田えみ子	➡ 余語さやか
議会運営委員		前田えみ子	➡ 鈴木孝之

●会派の異動

9月27日に「減税日本ナゴヤ」から前田えみ子議員の離団届が提出され、同日、「無所属の会(1人)」が発足しました。

経緯については、4面をご覧ください。▶

9月定例会 提出案件の賛否

■以下の市長提出案件11件については、いずれも賛成多数により修正可決、原案どおり可決、認定または原案どおり可決及び認定しました。賛否と結果は下記の表のとおりです。

- 表の①は、次の1件です。(9月27日議決)
●名古屋市長総合計画2023の策定
- 表の②は、次の1件です。(9月27日議決)
●令和元年度名古屋市長一般会計補正予算(第3号)
- 表の③は、次の9件です。(10月9日議決)
●平成30年度名古屋市長一般会計歳入歳出決算の認定など決算認定案9件

会派	氏名(区)	議決結果		
		① 修正可決	② 可決	③ 認定または 可決及び認定
自民	伊神邦彦議員(千種区)	○	○	○
	中川貴元議員(東区)	○	○	○
	渡辺義郎議員(北区)	○	○	○
	浅野有議員(西区)	○	○	○
	斉藤たかお議員(中村区)	○	○	○
	小出昭司議員(中村区)	○	○	○
	中田ちづこ議員(中区)	○	○	○
	西川ひさし議員(昭和区)	○	○	○
	ふじた和秀議員(瑞穂区)	○	○	○
	服部しんのすけ議員(熱田区)	○	○	○
	岡本善博議員(中川区)	○	○	○
	浅井正仁議員(中川区)	○	○	○
	吉田茂議員(港区)	○	○	○
	横井利明議員(南区)	○	○	○
	藤沢ただまさ議員(南区)	○	○	○
	松井よしのり議員(守山区)	○	○	○
	北野よしはる議員(守山区)	○	○	○
	中里高之議員(緑区)	○	○	○
	岩本たかひろ議員(緑区)	○	○	○
	丹羽ひろし議員(名東区)	議長	議長	議長
民主	成田たかゆき議員(天白区)	○	○	○
	斎藤まこと議員(千種区)	○	○	○
	山田昌弘議員(千種区)	○	○	○
	服部将也議員(北区)	○	○	○
	うえぞの晋介議員(西区)	○	○	○
	うかい春美議員(中村区)	○	○	○
	塚本つよし議員(中区)	○	○	○
	おくむら文悟議員(昭和区)	○	○	○
	久田邦博議員(瑞穂区)	○	○	○
	森ともお議員(熱田区)	○	○	○
	久野美穂議員(中川区)	○	○	○
	赤松てつじ議員(中川区)	○	○	○
	加藤一登議員(港区)	○	○	○
	橋本ひろき議員(南区)	○	○	○
	小川としゆき議員(守山区)	○	○	○
	岡本やすひろ議員(緑区)	○	○	○
	日比美咲議員(名東区)	○	○	○
	田中里佳議員(天白区)	○	○	○
	手塚将之議員(千種区)	○	○	○
	佐藤ゆうこ議員(東区)	○	○	○
減税	田山宏之議員(北区)	○	○	○
	鹿島としあき議員(西区)	○	○	○
	豊田薫議員(中区)	○	○	○
	大村光子議員(昭和区)	○	○	○
	中川あつし議員(中川区)	○	○	○
	沢田ひとみ議員(港区)	○	○	○
	河本ゆうこ議員(守山区)	○	○	○
	増田成美議員(緑区)	○	○	○
	余語さやか議員(緑区)	○	○	○
	浅井康正議員(名東区)	○	○	○
公明	鈴木孝之議員(天白区)	○	○	○
	田辺雄一議員(千種区)	○	○	○
	長谷川由美子議員(北区)	○	○	○
	さわだ晃一議員(西区)	○	○	○
	中村満議員(中村区)	○	○	○
	木下優議員(中川区)	○	○	○
	吉岡正修議員(港区)	○	○	○
	さかい大輔議員(南区)	○	○	○
	金庭宜雄議員(守山区)	○	○	○
	近藤和博議員(緑区)	○	○	○
共産	小林祥子議員(名東区)	○	○	○
	三輪芳裕議員(天白区)	○	○	○
	岡田ゆき子議員(北区)	欠	欠	欠
	江上博之議員(中川区)	×	×	×
	さはいあこ議員(緑区)	×	×	×
無会派	さいとう愛子議員(名東区)	×	×	×
	田口一登議員(天白区)	×	×	×
無会派	前田えみ子議員(瑞穂区)	○	○	○

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 議長…議長のため議決に参加できない
※前田えみ子議員は、9月27日の議決後から無所属の会に所属。

■以下の42件については、いずれも全会一致により原案どおり可決(決算認定案については認定または原案どおり可決及び認定、人事案件については同意)しました。

市長提出案件(37件)

《条例案》

- 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
- 心身障害者扶養共済事業条例の一部改正
- 専用水道に係る水道技術管理者の資格を定める条例の一部改正
- 子ども・子育て支援法施行条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 子どもいいき学校づくり推進審議会条例の制定
- 都市公園条例の一部改正
- 道路の占用料等に関する条例の一部改正
- 河川法施行条例の一部改正
- 水路等の使用に関する条例の一部改正
- 印鑑条例の一部改正
- 個人市民税の控除対象となる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人を定める条例の一部改正
- 水道事業等の設置等に関する条例の一部改正
- 水道給水条例の一部改正
- 名古屋都市計画事業大曽根北土地区画整理事業施行条例等の一部改正
- 建築基準法施行条例の一部改正
- 市営住宅条例及び定住促進住宅条例の一部改正
- 消防団条例の一部改正
- いじめ問題再調査委員会条例の制定

《補正予算》

- 令和元年度名古屋市長基金特別会計補正予算(第3号)など2件

《決算認定案》

- 平成30年度名古屋市長国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定など10件

《一般案件》

- 契約の締結
- 指定管理者の指定(2件)
- 市道路線の認定及び廃止
- 公立大学法人名古屋市立大学第三期中期目標の変更

《人事案件》

- 教育委員会の委員選任(2件)



議員提出議案(5件)

《意見書》

- あおり運転等の悪質・危険な運転に対する法整備等を求める意見書
あおり運転等の悪質・危険な運転に対し、罰則強化を含めた法整備を早急に進めることなどを強く要望するものです。
- プラスチックごみの削減に向けた対策の強化を求める意見書
拡大生産者責任の強化など、プラスチックごみの削減に向けた対策の強化を図るよう強く要望するものです。
- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の拡充に関する意見書
加配定数を含めた教職員定数の計画的な改善を図ることなどを強く要望するものです。
- 高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書
安全運転を支援する装置を搭載した安全運転サポート車等の普及を一層加速させることなどを強く要望するものです。
- 太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書
事業計画の認定に当たり、一定規模以上の案件については地域住民への事前説明を太陽光発電事業者が義務づけるなど、地域住民との関係構築のために必要な取り組みを行うことなどを強く要望するものです。

➡意見書の全文は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)でご覧いただけます。

平成30年度決算認定案の委員会審査

■各会計決算認定案19件について、常任委員会で審査された項目の一部をご紹介します。

総務環境委員会	○第20回アジア競技大会に関し、民間事業者からの提案内容を踏まえた名古屋競馬場跡地におけるメイン選手村の整備及び後利用についての検討状況 ○第5次一般廃棄物処理基本計画に掲げたごみの減量に関し、昨年度のごみ処理量の目標と実績
財政福祉委員会	○東部医療センター及び西部医療センターの名古屋市立大学附属病院化に係る病院局の認識及び検討状況 ○ICTなどを活用した施設再編整備の考え方及び学校施設再編整備の取り組み状況
教育子ども委員会	○文化財の保護に関し、山車行事の重要文化財指定に向けた国への働きかけ及び名古屋城天守閣解体に係る文化庁との協議・調整の状況 ○児童相談所における児童福祉司の置かれている状況及びそれに対する認識
土木交通委員会	○地域巡回系統の運行時間帯拡大による影響についての評価及びそれを踏まえたさらなる営業係数の改善に対する交通局の考え方 ○街区公園の整備事例の内容及びそれを踏まえた街区公園整備に対する考え方
経済水道委員会	○堀留水処理センターの上部空間の利用に向けた検討状況 ○名古屋城天守閣木造復元に関し、特別会計の収支の状況及び石垣調査に係る取り組み
都市消防委員会	○金城ふ頭エリアへの来訪促進に向けた取り組み ○大規模災害時における他都市からの応援職員の宿泊場所確保についての検討状況

➡委員会の議論の様子は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)から録画中継を視聴できます。

議会構成の変更の経緯について

9月定例会における、前田えみ子議員(減税日本ナゴヤ(当時))の伊勢湾台風に関する不適切な発言を発端とした議会構成の変更の経緯は、以下のとおりです。

- 9月20日の都市消防委員会において、前田えみ子議員から、伊勢湾台風に関する不適切な発言がありました。
- この発言を受け、都市消防委員会ははじめ複数の委員会において、他会派の議員から、発言の真意などがただされるとともに、本人からの謝罪の遅れ、減税日本ナゴヤの対応の遅さなどについて厳しい指摘がありました。
- また、同月27日には伊勢湾台風により甚大な被害を受けた地域の方々から、伊勢湾台風により家族を失った者の悲しみを踏みにじる発言であり、議会に対する不信を持ったとして、議長に対し抗議文が提出されました。
- これらを受けて、前田えみ子議員や減税日本ナゴヤから、所属委員の変更や会派の異動に関する申し出が行われました。
- その後、前田えみ子議員が新たに所属することとなった9月30日の経済水道委員会では、改めて本人から「皆様に不快な思いとご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫びいたします。」との発言がありました。

広報強化に向けた取り組み状況について

名古屋市会では、議会基本条例の趣旨を実現するため、市長に対し、

- 議会報告会の開催
- 市会だよりの例月化
- 区役所等における議会広報番組の放送
- 市会図書室でのインターネット中継の閲覧とDVDの貸出し

の4項目に関する予算要求を繰り返し行っています。

しかし、市長からは予算が認められていないため、残念ながら、いずれの項目も実現には至っていません。

詳しくはこちら

